
令和4年度の事業概要

大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会

2022年3月23日（水）

環境省関東地方環境事務所



- 首都直下地震や南海トラフ地震等大規模災害の発生に備え、「大規模災害発生時における関東ブロック災害廃棄物対策行動計画」に基づいた**広域的な災害廃棄物対策に係る連携体制の強化**を図るとともに、協議会開催等とおした**人材育成等**に取り組む。

令和4年度における主な事業項目と概要

ブロック協議会の開催

- ◎開催時期：6月、3月を予定（第1と第4四半期の年間2回）
- ◎議事予定
 - ・年間の活動予定と実績の報告
 - ・協議会への情報提供
 - ・会員間での意見交流

意見交換会の開催

- ◎都県担当者間（1回）
- ◎市区町村担当者間（1回）
 - ・関東ブロック内での災害廃棄物処理に関する情報提供等
 - ・都県、市区町村の各々担当者に共通する課題に係る意見交換

課題検討ワーキングの開催

- 《検討テーマ》
- ◎首都直下地震への対応（2回）
- ◎広域連携体制の強化（2回）
 - ・初動から連携して対応にあたっていく上での課題を抽出し検討する。
 - ・行動計画の見直しや充実に繋げる。

災害対応力の向上に向けた研修等の実施

- 《市区町村等担当者向け研修等》
- ◎実施時期：今後調整
- ◎実施場所：ブロック内4都県
- ◎実施内容は開催都県と調整し決定
 - ・初任者向け勉強会
 - ・グループディスカッション
 - ・簡易な実地訓練等

災害廃棄物処理現場研修の実施

- 《災害時のリーダー養成研修》
- ◎実施時期：調整中（1泊2日）
- ◎実施場所：静岡県熱海市
- ◎募集人数：30名程度
 - ・伊豆山土石流災害の初動対応等に関する体験聴取や仮置場等の現地確認を行う。

災害廃棄物処理記録誌の作成

- 《熱海市伊豆山土石流災害での災害廃棄物処理に係る記録》
- ◎とりまとめる情報や視点
 - ・静岡県と熱海市の初動対応
 - ・土砂災害特有の対応を整理
 - ・国交省や県土木との連携状況
 - ・今後への教訓や課題の整理など

- ブロック内の災害廃棄物対策に係る各種計画やマニュアルの実効性の向上を図る。
- 大規模災害時に連携して初動対応に当たる上で必要となる基盤の構築と強化を図る。
(組織体制の確保、キーパソンとなる人材育成、関係主体との情報共有のあり方等)

(1) 行動計画等に基づく広域的な連携体制構築のための図上演習

- ・ 行動計画の発動により支援チームを派遣し、被災自治体に入った際の状況把握や具体的な支援行動を演習を通して検証する。 **《行動計画の検証》**
- ・ 令和元年東日本台風による被災事例（茨城県常陸大宮市、福島県郡山市）に基づく仮想災害の発生を想定する状況を付与し、応答型の演習を行う。

(2) 自治体等による災害廃棄物処理計画の見直し・充実のための図上演習

- ・ 参加自治体が策定した処理計画の「**実効性の確認**」と「**見直しの契機**」とする。
- ・ 災害の種別、被災を想定する地域、自治体の人口規模など演習の前提とする状況を揃えて、演習毎に個別の達成目標を設定して行う（3都県で実施予定）。
- ・ 3回1セット（①勉強会、②演習本番、③フォローアップ）の図上演習

(3) 災害廃棄物処理の対応に役立つ地図の検討と試行作成

- ・ 地理空間情報を活用し災害時の情報共有を効率かつ効果的に行うことを目指す。
- ・ 情報共有に係るワークフロー作成、位置情報を付与した電子データの試行整備